

熊本市現代美術館の ミッションとビジョン

MISSION & VISION

ミッション

熊本市現代美術館は、
多様なものを受け入れる寛容なまちと
市民が心豊かに生きることができる未来を創造します。

ビジョン

熊本市現代美術館は、一人ひとりの市民にとって、
なくてはならない「現代の美術館」をめざします。

1. 日常的に多様な文化に触れることのできる場となります。
2. 心を揺さぶられるさまざまな機会をつくります。
3. 市民とともにまちの未来について考え続けます。

ART LAB MARKET

アートラボマーケット

どなたでも気軽に利用することができる、
コミュニケーションスペース&ショップです。

01 創作

誰でも気軽に参加できるものから、アーティストと
一緒に制作するものまで様々なワークショップ
を行います。

02 コミュニケーション

アートの持つ創造性をいかした、アクティブな
コミュニケーションの場となります。

03 ショッピング

マーケット(=市場)のように、様々なアーティ
ストのオリジナリティあふれる作品やグッズを
お買い求めいただけます。



写真:山中慎太郎(Qsyum)

ART COMMUNICATION

アート・ コミュニケーション

熊本市現代美術館は、アートを通してコミュニケーションが生まれ
る様々な活動をおこなっています。アートラボマーケットをはじめ、
誰もがアートにアクセスしやすい環境を整え、新たな芸術体験の場
を創造します。

地域連携

地域の多様な団体と協働し、アートの持つクリエイティビ
ティを生かすことで、異分野の課題解決に取り組むプロ
ジェクト等を実施しています。



CAMKEES(キャンキース)



熊本市現代美術館には登録制のボランティア制度があり
ます。グループの名称はCAMKEES。美術館の活動に関
わっていくことにご興味のある方は、ぜひCAMKEESとして
熊本市現代美術館をサポートしてください。ボランティア
の募集は、年に1回9月に行っています。
活動内容:図書チェック/布絵本/発送/読みがたり/
ピアノ

総合案内 INFORMATION

開館時間・入館料 Opening hours & Entrance fee

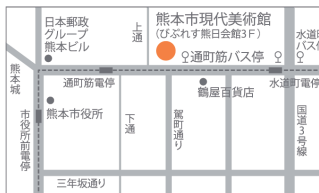
- ◆開館時間 10:00 ~ 20:00(有料展覧会の入場は19:30まで)
- ◆休館日 火曜日(火曜日が休日の場合は、その翌平日)
年末年始(12月29日~1月3日)
- ◆入館料 無料
- ◆観覧料 展覧会によって異なります
*各種障害者手帳等をご提示の方とその付き添い1名は無料
*10月12日は開館記念日のため入場無料

交通アクセスと地図 Access & Map

熊本市現代美術館は「通町筋(とおりちょうすじ)」バス停・電停下車 徒歩1分です

*美術館専用の駐車場はございません。「びぶれす熊日会館」駐車場(有料)や周辺のコインパーキングをご利用ください。

*美術館は交通アクセスのよい熊本市街地中心部に
ありますので、できるだけ公共機関をご利用ください。



熊本市現代美術館 Contemporary Art Museum, Kumamoto

〒860-0845 熊本市中央区上通町2-3 びぶれす熊日会館3F
TEL 096-278-7500 FAX 096-359-7892 www.camk.jp

各種SNSでも情報を発信しています

●Twitter: @camk_kumamoto ●Facebook: 熊本市現代美術館 ●Instagram: camk_kumamoto

熊本市現代美術館 2023年度 展覧会スケジュール

CAMK Contemporary Art Museum,
Kumamoto
2023 Exhibition Schedule

1

CAMKコレクション展 vol. 7

未来のための記憶庫

CAMK Collection Exhibition Vol. 7

Memory Storage for the Future

2023年4月29日(土)～6月25日(日)

各種の展覧会は、会期を終えれば姿を消してしまいます。しかし、その出展作の一部が熊本市現代美術館のコレクションに組み込まれることで、その企画や作品の記憶は、展覧会の同時代にいわせれた人々だけでなく、10年後、20年後、さらに未来を生きる人たちにも共有され続けていくことになります。それらの企画や作品は、コレクションによって「熊本の一部となる」ともいえるでしょう。コレクションとは時代を超えて受け継がれる一種の記憶庫であり、地域のアイデンティティを形成する存在でもあるのです。

本展では、当館の約20年の活動のなかで蓄積されてきた文化的記憶をたどりながら、パブリックコレクションの意味を確かめ直すことを試みます。



マリナ・アブラモヴィッチ
《Count on Us》2003
映像インスタレーション
熊本市現代美術館蔵
© Marina Abramović

入場無料の展示室

G III (ギャラリー3)

九州・熊本ゆかりのアーティストを中心に紹介する企画展示室です。

井手宣通記念ギャラリー

洋画家井手宣通の作品をはじめ、収蔵作品を中心に紹介する企画展示室です。



2

動画クリエイター展

Online Video Creators

2023年7月8日(土)～9月24日(日)



今や小学生のなりたい職業の一つにあげられるほど、絶大な影響力を持つYouTuber。本展は、それらの動画が持つパワーに着目した展覧会です。一本の動画に隠された努力や想い、人をひきつける工夫など、現在活躍する動画クリエイター(YouTuber)9組の“番組制作の舞台裏”を大公開します。

会場にはYouTuberの撮影スタジオの再現コーナーや、動画制作の体験ブースも登場。グリーンバックの前で好きに動いてみたり、VTuberになってみたり……さまざまなYouTuberのなりきり体験を楽しむ、“ジブン発信”のヒントが見つかる展覧会です。

参加クリエイター: はじめしゃちょー、フィッシャーズ、おめがシスターズ、鹿の間、しらスタ、葉一、ひまひま、ポッキー、リュウジ



Installation view of Hito Steyerl—A Sea of Data, National Museum of Modern and Contemporary Art, Korea (MMCA), 2022.
Image courtesy of National Museum of Modern and Contemporary Art, Korea (MMCA).
Photography by HONG Cheolki.
Courtesy of the Artist, Andrew Kreps Gallery, New York and Esther Schipper, Berlin.

3

遠距離現在 Universal / Remote

2023年10月7日(土)～12月17日(日)

パンデミックをきっかけに考えるようになった社会の在り方、その中の私たちの暮らしや労働など、様々な事象を現代美術を通して考察する展覧会です。全世界規模「Pan-」と、非対面の遠隔操作「リモート」の2つの視点から、グローバル資本主義や社会のデジタル化といった現代美術における従来のテーマを新たに捉えなおします。過剰な監視システムや精密なテクノロジーをもたらす滑稽さ、その中で生きる人間の深い孤独を感じさせる作品群は、今の時代、またポストコロナ時代の世界と真摯に向き合うものです。

出品作家: 井田大介、トレヴァー・パグレン、ヒト・シュタイエル、シュ・ビン、ティナ・エングホフ、地主麻衣子、チャ・ジェミン、木浦奈津子、エヴァン・ロス

4

第35回 熊市民美術展

熊本アートパレード

35th Kumamoto Citizen Art Exhibition:
KUMAMOTO ART PARADE

2024年1月13日(土)～1月28日(日)

15歳以上(中学生は除く)の熊本市在住、在勤、在学者、熊本市出身者ならだれでも無審査で出品することができる公募展です。

5

ミュシャ展 マルチ・アーティストの先駆者

Alfons Mucha : Multitalented Artist

2024年2月10日(土)～4月7日(日)

アール・ヌーヴォーの代表的な画家アルフォンス・ミュシャ(1860—1939)は、サラ・ベルナールの演劇ポスター「ジスモンダ」など魅力的で自信に満ちた女



ポスター「黄道十二宮」1896年、リトグラフ、チマル・コレクション

性を描いた数々のポスター作品で知られていますが、実際に彼が手掛けたジャンルは非常に多岐にわたりました。本展では、特にデザインの仕事に着目することで、マルチ・アーティストとしてのミュシャの先駆性を紹介します。

チェコ在住のズデニェク・チマル博士のコレクションから、劇場ポスター、書籍の挿絵、ポストカード、お菓子や香水のパッケージ、宝飾品などを中心に、油彩画、水彩画、素描、写真まで数々の貴重な作品を一堂に会し、ミュシャ芸術の全貌をときあかします。